

東京湾環境一斉調査への参加についての Q & A

Q 1. 事業所等の排水口を水質調査の観測点にしてもよいですか？

A 1 基本的には、近くの海や河川等の測定をお願いしていますが、貴社が通常行っている排水口での測定でも参加可能です。

この一斉調査の取組では、できる限り多くの企業や N P O の皆様の参加を求めています。是非ともご参加ください。

Q 2. 測定日、測定項目をもう少し具体的に教えてください。

A 2 現場での測定作業は 8 月 1 日、又は 8 月 1 日近辺（8 月 1 日の含まれる 1 週間）に行っていたとき、測定データを可能な限り早く提出いただきたいと考えています。

測定項目は、陸域の河川等では、水温、化学的酸素要求量（C O D）、流量、溶存酸素量（D O）、透視度、海域では、水温、塩分、溶存酸素量（D O）、化学的酸素要求量（C O D）、透明度のそれぞれ 5 項目としています。全ての項目について測定が実施されることが望ましいですが、測定が困難な項目については除いていただいで結構です。

排水口での測定は、通常測定して頂いている汚濁負荷量の測定項目などで結構です。

Q 3. 測定方法はパックテストなどの簡易測定法でもよいですか？

A 3 水質汚濁の解析や研究のためのデータは J I S 法等による測定が望ましいと考えています。

従って、企業の皆様の参加の場合は可能な限り J I S 法等の公定された測定方法によりお願いします。しかし、パックテストなどの簡易測定法による参加も可能です。できる限り多くの企業や N P O の皆様にご参加いただきたいと考えていますので、是非ともご参加ください。

Q 4. 透明度調査はどのように行えばよいでしょうか？

A 4 透明度は、透明度板(セッキー円盤)と呼ばれる直径 30 cm の白色円盤を水中に沈め、上から見える限界の深さを調べるものです。透明度の調査には、自作した道具を用いていただいても構いません。また、詳しい調査方法は海洋観測指針(気象庁)に記載されています。なお、調査に際しては、くれぐれも事故のないようご注意ください。

(参考)「子どものための地球環境問題専門サイト文理地球環境問題研究会
(<http://www.ecology-kids.jp/research/a05.html>)」

Q 5. 観測地点の緯度経度の調べ方がわからないのですが。

A 5 スマートフォンの各種地図アプリや、海上保安庁の運営する「海洋台帳(<http://www.kaiyoudaichou.go.jp/>)」、国土地理院の運用する「電子国土 WEB(<http://watchizu.gsi.go.jp/>)」で調べることが出来ます。

Q 6. 東京湾一斉調査の成果はどのように公表されるのでしょうか？

A 6 東京湾一斉調査の成果は、報告書や東京湾再生マップにまとめられる予定です。

昨年度までの報告書については、「東京湾環境一斉調査のホームページ

(http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/Monitoring/General_survey/index.htm)」に掲載されております。

「東京湾環境マップ」については、国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部の HP に掲載されております。「東京湾再生 MAP

(<http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/kenkyu/tkbs-reports.html>)」

(沿岸海洋・防災研究部 TOP→パンフレット・刊行物→東京湾再生 MAP)

なお東京湾環境マップや、東京湾再生推進会議のホームページ等の公表資料に掲載するため、調査やイベントの写真を募集しますので、ご提供下さいますようお願いいたします。

Q 7. 東京湾一斉調査のデータはどこで利用できますか？

A 7 ご提出頂いた調査結果はデータベース化し、どなたでもご自由に活用できるようにホームページ上で公開する予定です。

昨年度までの調査結果は「東京湾環境情報センターのホームページ

(<http://www.tbeic.go.jp/WEBGIS/Download01.asp>)」からダウンロード出来ます。